



森の比気

豊浦中学校学校だより
令和8年7月10日号

働く楽しさ WAKUWAKU ワーク

7月8日、本校ではキャリア教育の一環として「WAKU WAKU WORK」を実施しました。この活動は地域で活躍する方々との交流を通して、ふるさとへの愛着を育み、今後の学習や進路選択に生かすことを目的としています。生徒たちは地元企業や事業所での体験活動を通して、地域の産業や仕事の魅力に触れ、さまざまな職業への理解を深めました。また、働くことの意義や社会とのつながりについて深く考えるきっかけとなり、自分の将来や生き方を見つめる機会にもなりました。

今年度の「WAKU WAKU WORK」では、(株)板垣水道、(株)渡会電気土木、キャド・キャム(株)、自衛隊鶴岡出張所、鶴岡警察署、鶴岡市農山漁村振興課・出羽庄内森林組合、三瀬保育園の皆様からご協力をいただきました。生徒たちは、各事業所ならではの体験活動や説明を通して、地域の仕事について学ぶことができました。

生徒たちは、ものづくりやインフラ整備、公共サービス、自然環境の保全、保育など、多様な職業を体験しました。「仕事にはそれぞれ責任とやりがいがあることが分かった」「地域のために働く人々の思いに触れることができた」「イメージと違い働くことの楽しさを感じる事ができた」などの感想が寄せられました。

「働く」とは、単に収入を得るための手段ではありません。自分の力を生かして人や社会に貢献する営みです。私たちの暮らしは、多くの人々の仕事によって支えられています。誰かのために力を尽くすことが、巡り巡って社会全体の豊かさや幸せを生み出しています。

子どもたちが将来、自分のよさや能力を発揮しながら、人の役に立つ喜びを感じられる大人へと成長してくれることを願っています。今の学びは、その第一歩です。「自分のため」に始めた努力が、「みんなのため」につながることを大切にしながら、日々の教育活動を進めてまいります。

